

事前評価に関する書面

令和 8 年 4 月 1 日

氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

申請者 広島県竹原市忠海中町一丁目1番25号
アヲハタ株式会社
代表取締役社長 上田 敏哉

1	工場又は事業場の名称及び所在地	アヲハタ株式会社 竹原工場 竹原市竹原町1678番地の13	
2	許可申請の概要	別紙1のとおり	
3	工場又は事業場の排水口の位置及び数 (施行規則第4条第1号)	排水口の位置	別図1のとおり
		排水口の数	3か所
4	排水口周辺の公共用水域について定められている水質汚濁にかかる環境基準その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項(同第2号)	別紙2のとおり	
5	各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大値並びに当該排出水の1日当たりの通常量及び最大量(同第4号)	別紙3のとおり	
6	周辺公共用水域の水質の現況その他該水域の現況に関する事項(同第3号)	別紙4、別紙5、別図2のとおり	
	排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度及び範囲並びにその予測の方法(同第5号)		
7	その他当該特定施設の設置又は構造等の変更が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項(同第6号)		

別図3として、周辺公共用水域の範囲、測定点の場所が分かる図面を添付し、周辺公共用水域の決定の根拠も記載すること。

許可申請書の概要

(1) 特定施設設置(変更)の理由及び内容

- ・この度、設備の老朽化、製品カテゴリーの変更、作業改善のため、下記特定施設を廃止、新設する。
 - 特定施設 4-イ原料処理施設1基を廃止する(ホイップバキュームニーダー)。
 - 特定施設 4-イ原料処理施設1基を廃止する(レトルトパウチバキュームニーダー)。
 - 特定施設 4-イ原料処理施設2基を新設する(ホイップ多機能ニーダーΣ)。
- ・特定施設増加に伴い使用頻度を考慮し、4-イ原料処理施設2基の汚水等の量を変更する。(ホイップ多機能ニーダーΣ)。
- ・工場内レイアウトの変更に伴い、下記特定施設の配置を変更する。
 - 特定施設 4-イ原料処理施設1基を「ホイップ」から「果実加工場」に変更する(チョッパー)。
 - 特定施設 4-イ原料処理施設1基を「ホイップ」から「果実加工場」に変更する(エムラダイサー)。
 - 特定施設 4-イ原料処理施設1基を「ホイップ」から「果実加工場」に変更する(アーシャルRAダイサー)。
 - 特定施設 4-イ原料処理施設1基を「ホイップ」から「果実加工場」に変更する(アーシャルDCスプリントダイサー)。

(2) 排水処理施設の設置、変更等の内容

なし

(3) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少する場合はその理由 (変更がない場合も含む)

- ・この度、設備の老朽化、製品カテゴリーの変更、作業改善のため、特定施設 4-イ原料処理施設2基を廃止し、新規特定施設 4-イ原料処理施設2基を設置する。
汚水排出量の変更はなし。
- ・排水処理能力は十分に有しており、処理前の負荷量と水量に大きな変化がないため処理後の汚染状態について変化はない。
- ・したがって、排水口の水量の変更はなし。
(COD:通常37.8g/日, 最大63.0g/日, 窒素:通常23.8g/日, 最大37.2g/日、リン:通常2.4g/日, 最大4.2g/日)
排水口2(雨水)、排水口3(雨水)は雨水のみのため変更なし。

(4) 備考

- ・排水水の汚染状態の項目について、大腸菌群数から大腸菌数に変更。

別紙 2

排水口周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準
 その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

(1) 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.003mg/L以下	1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006mg/L以下
全シアン	検出されないこと。	トリクロロエチレン	0.01mg/L以下
鉛	0.01mg/L以下	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下
六価クロム	0.02mg/L以下	1, 3-ジクロロプロペン	0.002mg/L以下
砒素	0.01mg/L以下	チウラム	0.006mg/L以下
総水銀	0.0005mg/L以下	シマジン	0.003mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと。	チオベンカルブ	0.02mg/L以下
PCB	検出されないこと。	ベンゼン	0.01mg/L以下
ジクロロメタン	0.02mg/L以下	セレン	0.01mg/L以下
四塩化炭素	0.002mg/L以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/L以下
1, 2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	ふっ素(海域除く)	0.8mg/L以下
1, 1-ジクロロエチレン	0.1mg/L以下	ほう素(海域除く)	1mg/L以下
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04mg/L以下	1, 4-ジオキサン	0.05mg/L以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	1mg/L以下		

(2) 生活環境の保全に関する環境基準

排出先の河川の水域名, 海域名		燧灘北西部
類型		A/II 生物特A
基準値	水素イオン濃度(pH) (水素指数)	7.8以上8.3以下
	生物化学的酸素要求量(BOD) (mg/L)	-
	化学的酸素要求量(COD) (mg/L)	2mg/L以下
	浮遊物質(SS) (mg/L)	-
	溶存酸素量(DO) (mg/L)	7.5mg/L以下
	大腸菌数 (CFU/100mL)	20CFU/100ml以下
	n-ヘキサン抽出物質(油分等) (mg/L)	検出されないこと。
	全窒素 (mg/L)	0.3mg/L以下
	全燐 (mg/L)	0.03mg/L以下
	全亜鉛 (mg/L)	0.01mg/L以下

排出先の類型が2以上となる場合は、欄を追加すること。

(3) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

ア ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準

媒体	基準値
ダイオキシン類(水底の底質を除く。)	1pg-TEQ/L以下

イ その他

排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大値並びに当該排出水の1日当たりの通常量及び最大量

[変更前]

排水口名		排水口		排水口2(雨水) 排水口3(雨水)				総合円中心排水口	
項目		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排水量 (m ³ /日)		2003	2006	0	0				
排水水の汚染状態	PH (水素指数)	8	8						
	BOD (mg/L)	43	75						
	COD (mg/L)	37.8	63.0						
	SS (mg/L)	30	40						
	全窒素 (mg/L)	23.8	37.2						
	全燐 (mg/L)	2.4	4.2						
	大腸菌群数 (個/cm ³)	100以下	3000以下						
	大腸菌数 (CFU/mL)	—	—						
	n-ヘキサン抽出物 (mg/L)	1	20以下						
COD負荷量(kg/日)		75.8		-				-	
窒素負荷量(kg/日)		47.7		-				-	
燐負荷量(kg/日)		4.8		-				-	

[変更後]

排水口名		排水口		排水口2(雨水) 排水口3(雨水)				総合円中心排水口	
項目		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
排水量 (m ³ /日)		2003	2006	0	0				
排水水の汚染状態	PH (水素指数)	8	8						
	BOD (mg/L)	43	75						
	COD (mg/L)	37.8	63.0						
	SS (mg/L)	30	40						
	全窒素 (mg/L)	23.8	37.2						
	全燐 (mg/L)	2.4	4.2						
	大腸菌群数 (個/cm ³)	—	—						
	大腸菌数 (CFU/mL)	30以下	800以下						
	n-ヘキサン抽出物 (mg/L)	1	20以下						
COD負荷量(kg/日)		75.8		-				-	
窒素負荷量(kg/日)		47.7		-				-	
燐負荷量(kg/日)		4.8		-				-	

負荷量は排水口ごとに
通常汚染状態(mg/L) × 最大排出量(m³/日) × 10⁻³で計算する。

別紙4-3 周辺公共用水域の水質の現況その他当該水域の現況に関する事項及び排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度(海域)

採水機関名		分析機関名	
-------	--	-------	--

名				希釈率(C)									
採水年月日及び時刻	区分	項目	水温	pH	BOD	COD	SS	全窒素	全磷				
			(°C)	(水素指数)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)			
第1回 年月日 時分 干満の別:	水質の現況	表層											
		中層											
		平均											
第2回 年月日 時分 干満の別:		表層											
		中層											
		平均											
第3回 年月日 時分 干満の別:		表層											
		中層											
		平均											
総平均													
将来水質													

名				希釈率									
採水年月日及び時刻	区分	項目	水温	pH	BOD	COD	SS	全窒素	全磷				
			(°C)	(水素指数)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)	(mg/L)			
第1回 年月日 時分 干満の別:	水質の現況	表層											
		中層											
		平均											
第2回 年月日 時分 干満の別:		表層											
		中層											
		平均											
第3回 年月日 時分 干満の別:		表層											
		中層											
		平均											
総平均													
将来水質													

排水量減少(1m³/日)、排水質は負荷量が減少、排出口の位置、数は共に変わらない。
 負荷量は減少するため、周辺公共用水域の水質の現況その他当該水域の現況に関する事項及び排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度(海域)は省略する。

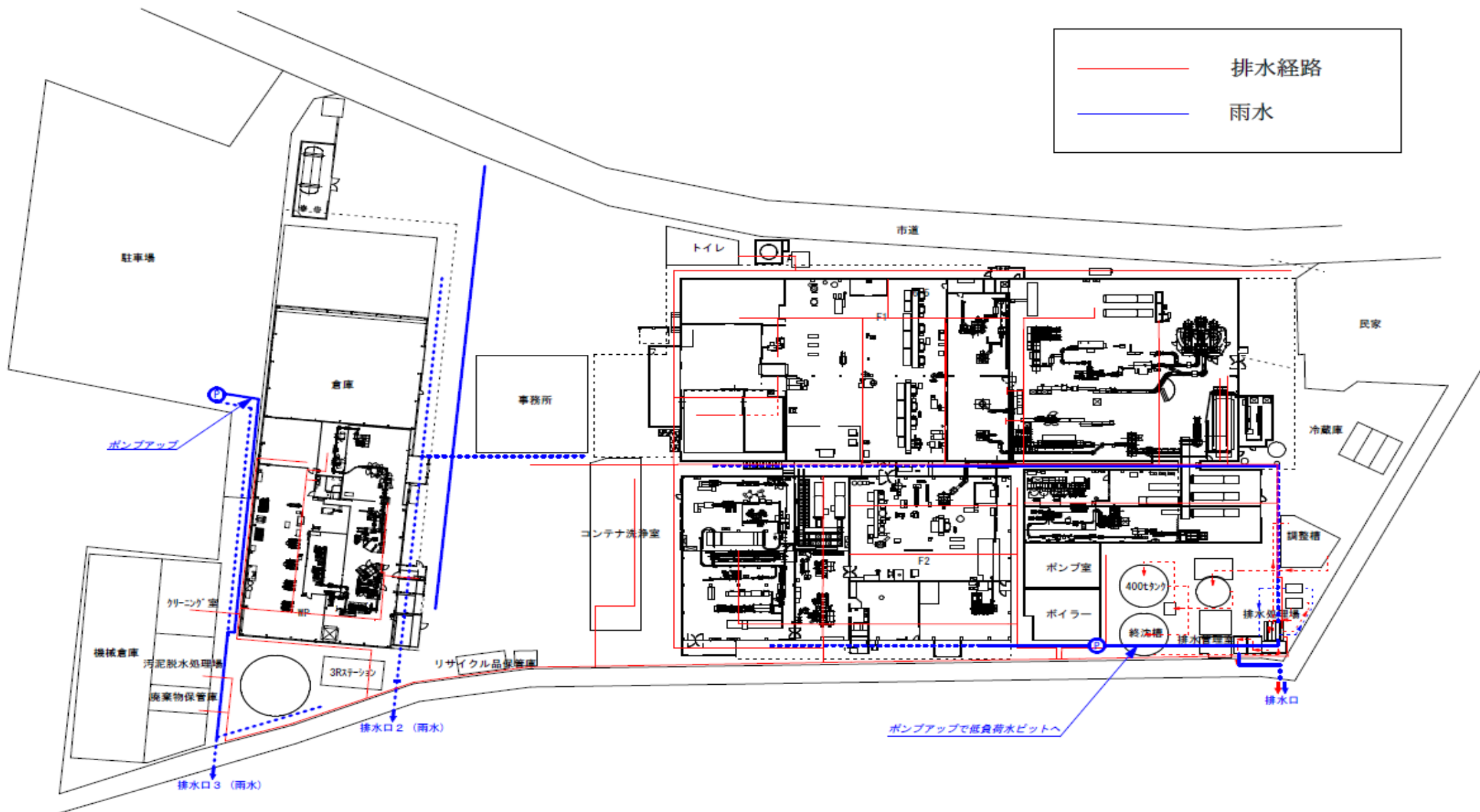
別紙5

排水水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の範囲
並びに将来水質の予測(海域)

排水水量の変更はなし、排水口の位置、数は共に変わらない。
負荷量の変更はないため、排水水の排水に伴い予測される周辺公共用水域の
水質の変化の範囲決定及び将来水質の予測(海域)は省略する。

別図1

アラハタ(株)竹原工場 工場全体排水経路



別図 2

周辺公共用水域の範囲及びその決定根拠

排出水量の変更はなし、排出口の位置、数は共に変わらない。
負荷量の変更はないため、周辺公共用水域の範囲及びその決定の根拠は省略する。

別図3 燧灘北西部測定点配置図

